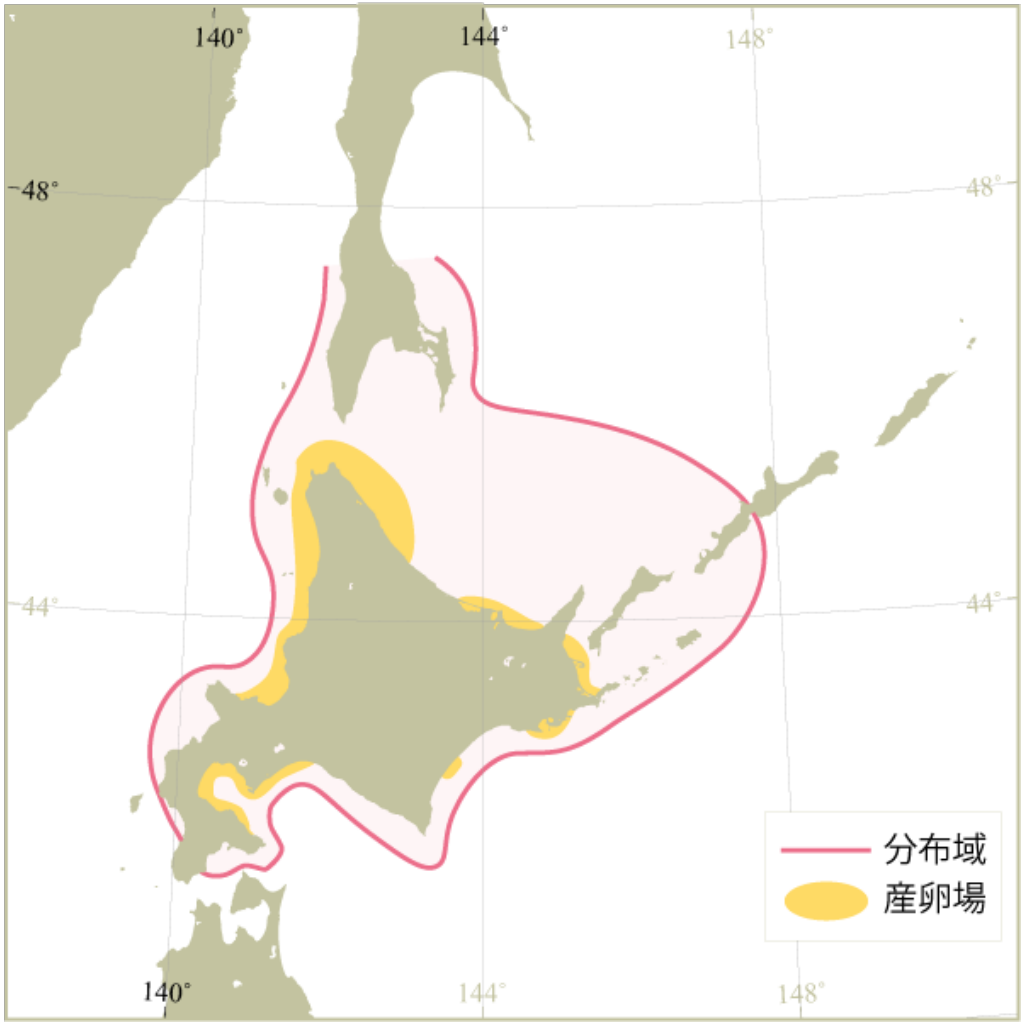
ニシン北海道
令和５年度資源評価結果

生物学的特性

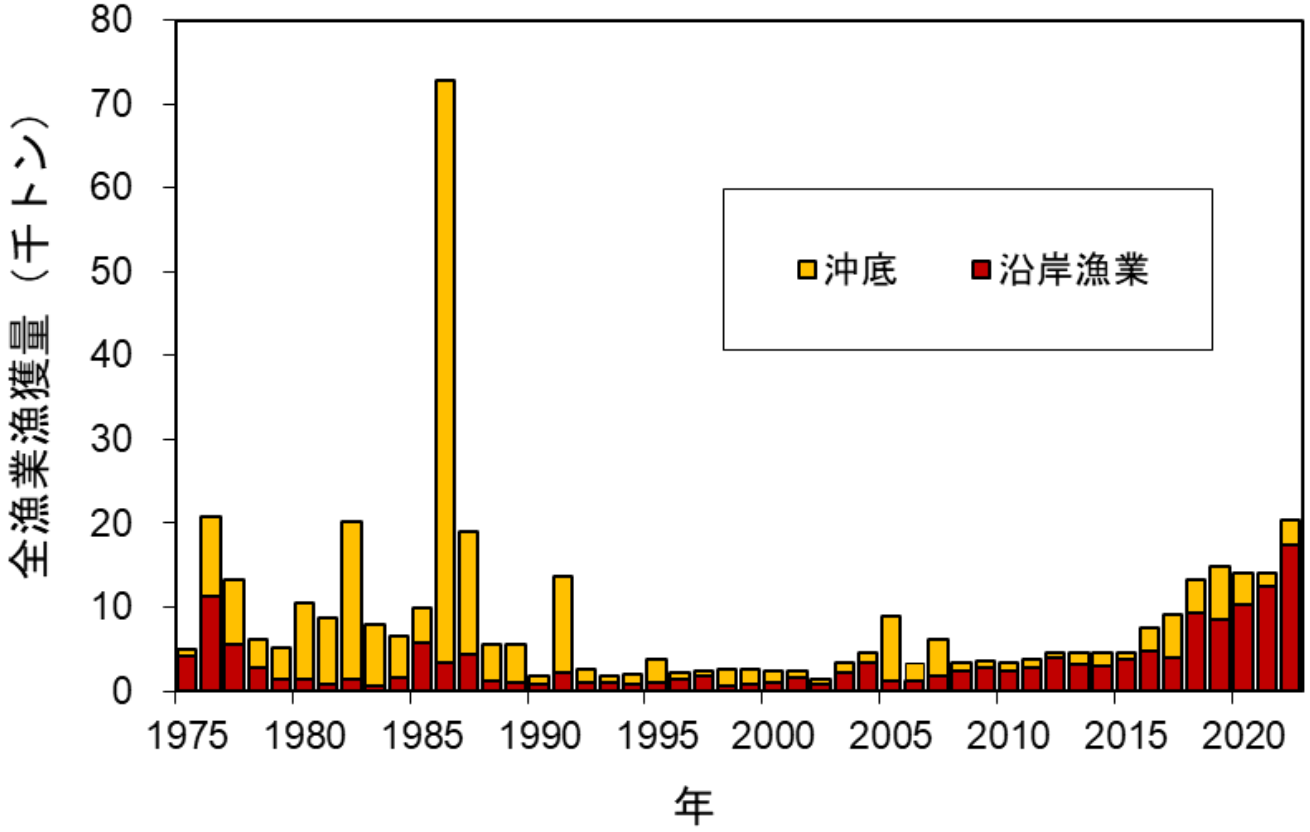


生物学的特性

- 寿命：6～7歳（北海道沿岸の産卵場とその周辺で生活史を完結させる地域性ニシン）、10～18歳（我が国周辺水域とロシア水域を含む広範囲を回遊する北海道・サハリン系群）
- 成熟開始年齢：2歳（地域性ニシン）、4歳（北海道・サハリン系群）
- 産卵期・産卵場：1～5月（地域性ニシン（石狩湾系群は1～3月、北海道東部沿岸の集団で3～5月））、3～5月（北海道・サハリン系群）
- 食性：魚類、オキアミ類、カイアシ類、端脚類および魚類の卵や仔稚魚
- 捕食者：大型魚類、頭足類および海産哺乳類等

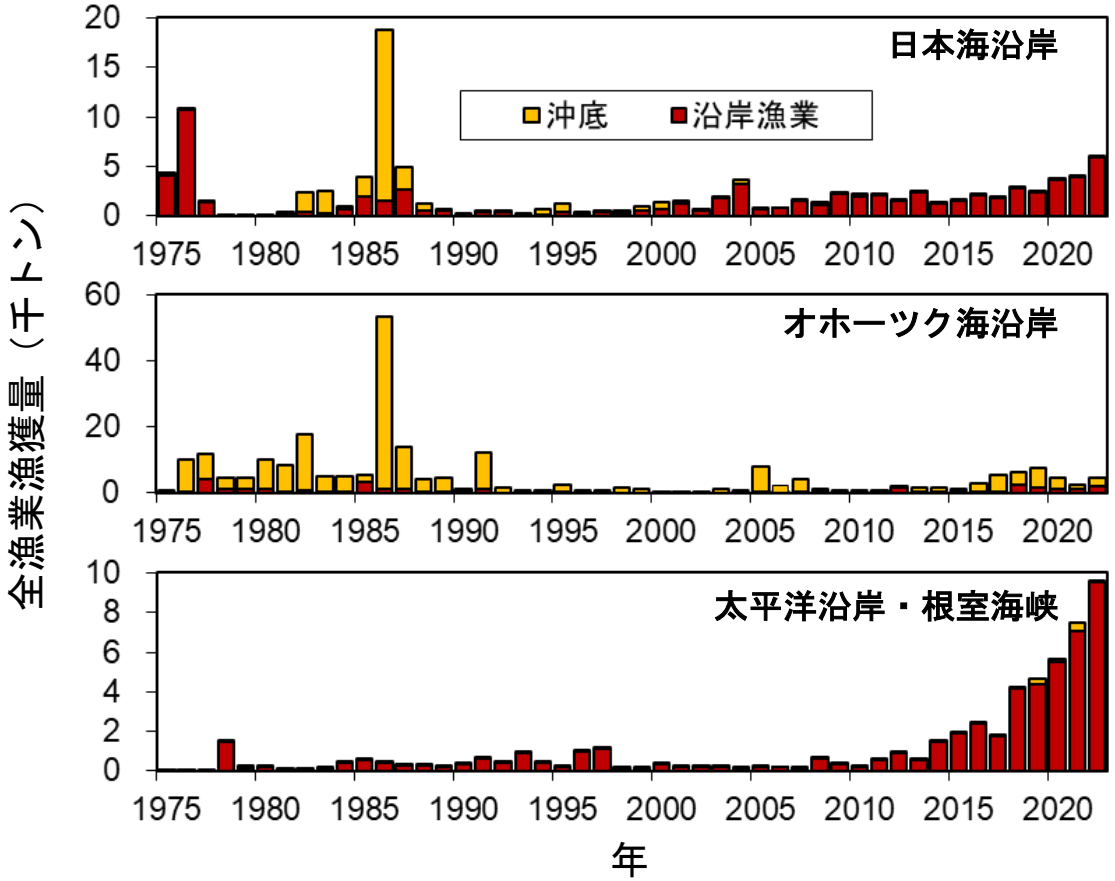
- 主漁場は北海道周辺水域

漁獲の動向①



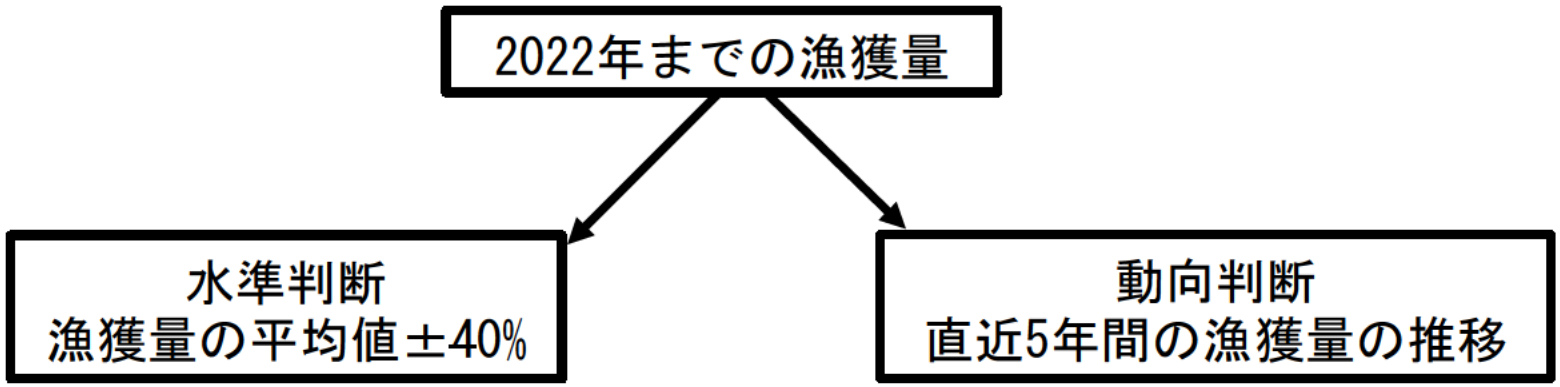
- 主漁法は沿岸漁業の刺し網漁業と小型定置網漁業、並びに沖合底びき網漁業（沖底）
- 全漁業種（沿岸漁業と沖底）の合計漁獲量：2022年は20,368トン
- 直近5年間（2018～2022年）の合計漁獲量の推移は増加傾向
- 2021年の放流尾数：528万尾

漁獲の動向②

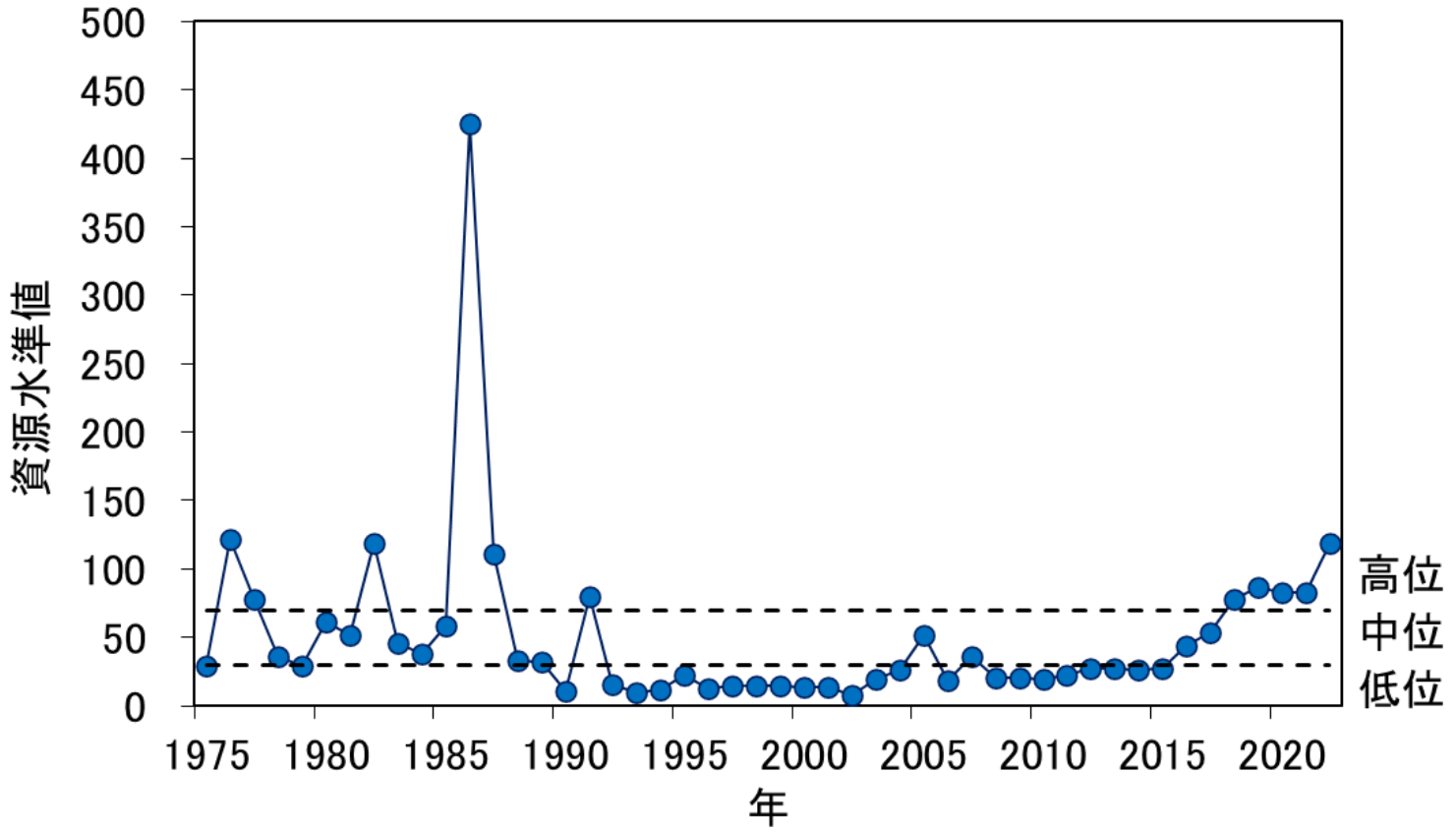


- 日本海沿岸では、沖底の漁獲量は1980年代を除いて極めて少なく、沿岸漁業の漁獲量は2000年以降増加傾向
- オホーツク海沿岸では、沖底の漁獲量が沿岸漁業を上回る年が多い
- 太平洋沿岸・根室海峡では、沿岸漁業による漁獲量が大部分である

資源評価の流れ



資源の動向



※水準区分　低位／中位：資源水準値30、中位／高位：資源水準値70
（1975～2022年の漁獲量の平均値を50とし、各年の漁獲量を指標値（資源水準値）化して水準判断）

- 資源水準：2022年の資源水準値は119であり「高位」
- 資源動向：直近5年間（2018～2022年）の漁獲量の推移から「増加」

資源評価のまとめ

- ニシン北海道の資源水準は「高位」、動向は「増加」
- 漁獲量により資源状態を評価した